

平成 30 年度

菰野町教育委員会

事務事業点検・評価報告書

令和元年 10 月

菰野町教育委員会

## 目 次

I	平成 30 年度点検及び評価実施方針	3
	1 趣旨      2 点検及び評価の対象      3 点検及び評価の方法	
II	教育委員会の運営状況	4
	1 教育委員会	4
	2 平成 30 年度菟野町教育方針	6
	3 事務局体制	6
III	事務事業の執行状況	8
	1 学校教育	8
	(1)豊かな人間性を育む教育の推進	8
	①人権教育の推進 ②道徳教育の推進	
	③いじめや暴力を許さない子どもたちの育成 ④安心できる集団づくり	
	⑤読書活動の推進 ⑥郷土教育の推進	
	(2)確かな学力と社会参画力を育む教育の推進	10
	①学力の育成 ②特別支援教育の推進 ③幼児教育の充実	
	④国際理解教育の推進 ⑤情報教育の推進 ⑥キャリア教育の推進	
	(3)健やかな体を育む教育の推進	12
	①健康教育の充実 ②体力、運動能力の向上 ③食育推進事業	
	(4)信頼される学校づくり	12
	①開かれた学校づくりの推進 ②教職員の資質向上	
	③子どもたちと向き合う時間の確保 ④安全教育の推進と学校施設、設備の充実	
	2 社会教育	16
	(5)地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実	16
	①家庭の教育力の向上 ②地域における青少年活動の推進	
	③現代社会を生き抜く青少年の健全育成 ○青少年活動支援推進事業	
	(6)活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進	17
	①生涯学習推進体制の確立	
	○生涯学習推進事業    ・よもやま歴史教室    ・かもしかライフカレッジ	
	○教育委員会主催人権教育事業    ○教育委員会主催文化事業	
	○教育委員会支援文化事業      ○国際交流事業	
	②公民館機能の充実    ○公民館教室及び講座	
	③図書館サービスの充実	20
	ア)図書館事業    イ)催事室利用状況    ウ)ギャラリー利用状況	
	エ)平成 30 年度図書館貸出等の状況    オ)研修等の受け入れ実績	
	(7)健やかな心身をつくる生涯スポーツの推進	26
	①スポーツ活動の機会と教室、大会などの充実	
	②スポーツ団体の育成や指導者の養成、支援	
	③スポーツ施設の整備、充実	
	(8)豊かな文化の継承と創造	27
	①芸術文化活動への支援と交流の促進	
	②有形と無形の文化財や歴史的資産の保存と活用 ③郷土愛の育成	
IV	評価委員会の意見	28
	資料編	

# I 平成 30 年度点検及び評価実施方針

## 1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、菰野町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検及び評価」）を実施する。

## 2 点検及び評価の対象

平成 30 年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況のうち、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までに実施したものとする。

## 3 点検及び評価の方法

### (1) 自己点検評価

第 5 次菰野町総合計画を踏まえた菰野町教育大綱、菰野町教育振興基本計画及び平成 30 年度菰野町教育方針に基づき、平成 30 年度の教育委員会の運営状況、事務事業の執行状況について点検及び評価を行う。

### (2) 学識経験者等の知見の活用

菰野町の教育に関して知見を有する次に掲げる者から、教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、本書に記載する。

(知見者)

氏 名	職業（前職含む）
小 林 浩 司	建設会社社長
水 谷 裕 康	元小学校長

### (3) 議会への報告

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに町ホームページへの掲載等により公表する。

## Ⅱ 教育委員会の運営状況

### 1 教育委員会

教育委員会では、教育長と4名の教育委員により委員会を開催し、規則等の制定や生徒指導事案など重要な案件を審議した。また、各種研修会に参加し、委員の資質向上に努めるとともに、学校訪問を実施し、学校運営の状況などについて現地で説明を受け、指導及び助言を行った。更に平成27年度から開催されている総合教育会議において、教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議を行った。

#### (1) 委員構成

役職名	氏名	住所	任期
教育長	川瀬 敏	菰野	平成24年10月1日就任 平成31年3月2日まで
教育長職務代理者	近藤 保則	池底	平成28年10月1日就任 令和元年9月30日まで
委員	岡島 由香里	田光	平成21年10月1日就任 令和3年9月30日まで
委員	小崎 玉千香	永井	平成24年10月1日就任 令和2年9月30日まで
委員	石倉 雅孔	大羽根園	平成30年10月1日就任 令和4年9月30日まで

【備考】 教育長職務代理者 伊達 恭子 平成26年10月1日就任  
平成30年9月30日まで

#### (2) 教育委員会の開催状況

開催数： 定例会 11回、 臨時会 2回

#### (3) 委員研修状況

実施日	研修先	研修場所	研修内容
8月29日	松阪市	松阪市嬉野生涯学習センター	研修テーマ「初等中等教育施策の動向」、「教育委員会の活性化と委員としての役割」
11月1日	津市	三重県総合文化センター	研修テーマ「三重の教育談義（三重県いじめ防止フォーラム）」

#### (4) 学校訪問

- ・(前期) 5月28日 朝上小、竹永小、八風中      6月28日 菰野小、千種小
- ・(後期) 11月15日 鵜川原小、菰野中

#### (5) 総合教育会議

##### ① (第1回) 5月28日

○菰野町における今後の教育の在り方について

- ・菰野町の子どもたちの状況
- ・地域と連携した居場所と絆のある学校づくり

(6) 委員会の主な審議内容

- ① 第4回教育委員会 (H30. 4. 25)
  - 平成30年度菰野町奨学金貸付について
  - 平成30年度学校評議員委嘱について
  - 平成30年度教育委員会関係補助金等要綱について
- ② 第5回教育委員会 (H30. 5. 18)
  - 第1回総合教育会議について
- ③ 第2回臨時教育委員会 (H30. 5. 28)
  - 第1回総合教育会議について
  - 平成30年度菰野町就学指導委員会委員・調査員の委嘱について
  - 学校訪問(朝上小、竹永小、八風中)を終えて
- ④ 第6回教育委員会 (H30. 6. 28)
  - 菰野町町民センター条例施行規則について
  - 菰野町公民館規則の一部を改正する規則について
  - 教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について
  - 学校訪問(菰野小学校、千種小学校)を終えて
  - 平成30年第2回定例会(6月議会)について(報告)
- ⑤ 第7回教育委員会 (H30. 7. 20)
  - 平成31年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科用図書及び平成31年度使用小学校用教科用図書の選定にかかる採択協議会結果について
- ⑥ 第3回臨時教育委員会 (H30. 8. 8)
  - 教育委員会の当面の執行体制について
- ⑦ 第8回教育委員会 (H30. 9. 26)
  - 菰野町教育委員会教育長の勤務時間及びその他の勤務条件に関する規則の制定について
  - 平成29年度菰野町教育委員会事務事業点検及び評価報告書について
  - 平成30年第3回定例会(9月議会)について(報告)
- ⑧ 第9回教育委員会 (H30. 10. 1)
  - 役員改選等について
    - ・菰野町教育委員会教育長の職務を代理すべきものの指名について
    - ・菰野町教育委員会の議席決定について
- ⑨ 第10回教育委員会 (H30. 11. 15)
  - 学校訪問(鶴川原小学校、菰野中学校)を終えて
  - 第2回総合教育会議について
- ⑩ 第11回教育委員会 (H30. 12. 21)
  - 菰野町教育委員会公共基準点管理保全要綱の制定について
  - 平成30年第4回定例会(12月議会)について(報告)
  - 平成30年度末人事における基本方針について
  - 平成31年度県費負担教職員の定数に関する意見書について
  - 第2回総合教育会議について
- ⑪ 第1回教育委員会 (H31. 1. 10)
  - 小学校、中学校卒業式告辞について
- ⑫ 第2回教育委員会 (H31. 2. 28)
  - 平成30年度末教職員人事異動について
    - ・平成31年度 校長及び教頭等異動内申について
    - ・平成31年度 教諭等異動内申について

- 平成 31 年度菰野町学校教育指導方針について
- 菰野町人権教育基本方針について
- 平成 31 年度菰野ふれあい教室運営要項について
- 平成 31 年度いじめ不登校対策事業について
- 菰野町特別支援教育巡回コーディネーター配置要項について
- ⑬ 第 3 回教育委員会 (H31. 3. 29)
  - 菰野町教育委員会事務局組織に関する規則の一部を改正する規則について
  - 平成 31 年第 1 回定例会 (3 月議会) について (報告)
  - \* 委員会審議において、上記の議案、事項以外にも学校教育所管事項及び社会教育所管事項等について審議を行っている。

## 2 平成 30 年度菰野町教育方針

### (1) 学校教育

「新しい時代をたくましく生きる子どもの育成」

#### ・小中学校【資料 2】

教育課題を的確にとらえ、子どもを主体にした創意ある教育課程の編成に努め、家庭、地域社会との確かな連携のもと魅力ある教育活動の推進を図る。

#### ・幼稚園

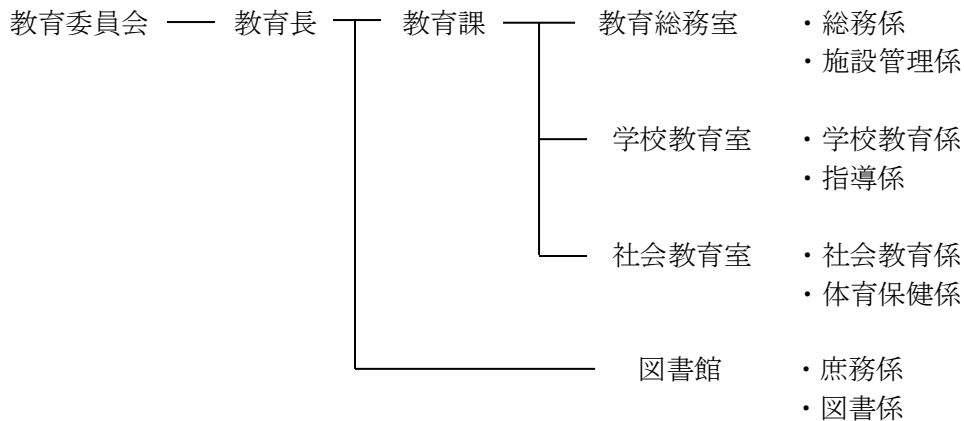
自発的な活動と遊びを通して、総合的な指導により人間形成の基礎を培う。遊びを中心とした生活を通して、生きる力の基礎となる心情、意欲、態度が身につくようにする。

### (2) 社会教育

「生涯学習の理念に基づいて幼児期から高齢者に至るすべての住民に少しでも多くの学習の場と機会を確保しながら健康で心豊かな人づくり、地域に根ざした町づくりの実現に努める。」

## 3 事務局体制

### (1) 事務局組織【資料 1・9】



## (2) 職員数の状況（常勤職員）

H30.4 現在

課名	課長	室長	室長 補佐	係長	係	嘱託	臨時	その他 (国際交流員)	合計
教育総務室、学校教育室	1	2	1	2	1	-	5	2 (ALT)	14名
社会教育室	-	1	1	3	3	-	1		9名
図書館	1	-	-	1	1	6	3	-	12名
合計	2	3	2	6	5	6	9	2	35名

## (3) 外部職員数【資料4】

## (4) 教育予算の推移（決算） \*学校教育には教育総務費、奨学金、幼稚園費を含む（単位：千円）

区分	H26	H27	H28	H29	H30
学校教育	1,216,926	1,165,531	1,338,454	1,035,445	969,522
社会教育	196,276	243,553	375,518	270,118	634,063
図書館	71,060	72,653	74,968	77,731	81,504
合計	1,484,262	1,481,737	1,788,940	1,383,294	1,685,089
町一般会計	10,894,770	11,150,773	13,117,623	12,677,413	12,487,879
教育費割合%	13.6%	13.3%	13.6%	10.9%	13.5%

### Ⅲ 事務事業の執行状況

#### 1 学校教育

##### (1) 豊かな人間性を育む教育の推進

###### ① 人権教育の推進

各学校が策定した「人権教育推進計画」に基づき、子どもたちの人権尊重の意識と実践力を養うため、教科等指導や生徒指導、学校経営などの教育活動全体を通して、一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」をめざし、町内すべての小中学校で、子どもたちの発達段階に応じた「人権教育カリキュラム」を作成し取組を進めた。

また、人権意識を培うための学校教育のあり方について、三重県教育委員会人権教育課と連携し、幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導法等の改善及び充実に努めた。平成30年度の三重郡人権・同和教育研究協議会研究推進校である鶺川原小学校、朝日園において研究発表会が開催され、三重郡内だけでなく、三重県内の学校からも多数参加をいただき、先生方とともに研修を深めた。

###### ② 道徳教育の推進

今年度より、小学校では教科としての「特別の教科 道徳」が完全実施され、中学校では来年度より完全実施されることを受けて、町内小中学校すべての教職員が「特別の教科 道徳」の特質をふまえた授業づくり及び評価を行うことができるよう、三重県教育委員会指導主事を招聘し、研修会を実施した。

各学校では、それぞれの学校の実態に即した道徳教育の全体計画を作成し、各教科や総合的な学習の時間および特別活動等のそれぞれの教科の特質に応じて子どもたちの発達の段階を考慮し、生命を大切に作る心や善悪を判断する力を育て、子どもたちの道徳性が養われる教育活動を推進した。

###### ③ いじめや暴力を許さない子どもたちの育成

いじめは「どの子にも、どの学校でも起こり得る」ことであることを周知徹底し、学校教育に携わるすべての関係者がいじめの兆候をいち早く把握して迅速に対応するよう、学期に1回以上のアンケート調査や個別面談等により、いじめの早期発見、早期対応に努めた。いじめ問題の根本的な解消に向けて子どもたちの人権感覚を高め、思いやりの心や個性を認め合う力を育成し、さらには違いを多様性として理解する力を培い、「いじめを許さない心」を育むとともに「いじめを許さない」「見て見ぬふりをしない」ことが自然で当然な価値観とされるよう取組を進めた。また、情報モラル教育やリスク管理を推進するとともに、教職員や保護者等の情報技術に対する対応力の向上を図り、いじめを含むネットトラブルの未然防止や早期発見、早期対応にも努めた。

菰野ふれあい教室を町単独事業として「三重県民の森ふれあいの館」で週3回、指導員2名体制で実施した。平成30年度は小学生2名と中学生6名が入級した。個別指導を中心に基礎学力定着のための学習支援に努めるとともに、教育相談セラピストも年15回派遣し、不登校児童生徒（保護者を含む）の相談に応じてきた。

入級後、継続して来室した児童生徒もいたが、なかなか来室できなかった者もいた。中学3年生3名については、定時制高校を含め、3名とも高校進学となった。その他の児童生徒においては、次年度学年始めには学校へ登校できている児童生徒もいたが、現在4名が引き続き入級となっている。

教育委員会事務局に非常勤の教育相談員を配置し、教育相談にあたってきた。平成



30年度は、面談43件（来所35件・巡回8件/昨年度計65件）、電話による相談10件（昨年度12件）となっている。相談内容の主なものとしては、不登校の問題や学校生活への適応を含めた学業・進路について等であった。なかでも相談内容として一番多かったのは、個別の指導及び支援が必要な児童生徒についての相談で、カウンセラーや子ども家庭課と連携して発達検査も実施しながら支援の方向を考えたものは36件あった。

不登校児童生徒数は、小学校で17名（前年度16名）、中学校で43名（前年度47名）と、小学校で1件増加し、中学校で4件減少となった。不登校の原因は種々様々である。教育相談員や菰野ふれあい教室指導員が学校の不登校対策委員会に出席するなど学校と連携し、また各学校においては関係機関等と情報の共有を図りながら指導及び支援にあたってきた。

（町不登校児童生徒数）

人、（ ）内は%、H30は暫定値

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	7(0.29)	17(0.72)	12(0.51)	20(0.84)	16(0.68)	17(0.71)
(全国平均)	(0.36)	(0.39)	(0.42)	(0.47)	(0.54)	
中学校	35(2.66)	44(3.35)	43(3.36)	37(3.10)	47(4.09)	43(3.78)
(全国平均)	(2.69)	(2.76)	(2.83)	(3.03)	(3.25)	

#### ④ 安心できる集団づくり

学校においてはすべての子どもたちにとって居心地の良い学校となるように、子どもたちに対する観察と教育相談に加えて、子どもたちの内面を知ることのできる「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査（Q-U調査）」を実施するなど、さまざまな観点から子どもたちの実態を把握し、日常の学級指導や特別活動などにおいても集団づくりの取組を進めた。

児童生徒の悩みを積極的に受け止めることができるようにするため、今年度もスクールカウンセラーや生徒指導推進協力員、スクール相談ネットワークを町単独で配置し、生徒指導體制の確立に努めた。学校内の巡回や問題行動等の予兆の早期発見、未然防止、保護者への支援等の取組を進めてきた。各校の状況をスクール相談ネットワークと情報共有し、子ども家庭課や児童相談所、四日市西警察署、三重県教育委員会のスクールソーシャルワーカーや生徒指導特別指導員等の関係機関と連携して、適切な指導に努めた。

#### ⑤ 読書活動の推進

読書活動を通して、子どもたちの感性を磨き、表現力や想像力を豊かなものにし、人生をよりよく生きる力を身につけさせる等、豊かな心の育成に取り組んできた。また、読書活動は主体的な学びや読解力、言語力、創造力を育む重要な学習活動である。学校においては、一斉読書や読み聞かせ、家庭読書の啓発に努めた。

また、平成28年度より町内すべての小中学校へ菰野町図書館司書が月2回の巡回訪問を行い、菰野町図書館と学校が連携し、学校図書ボランティアの協力も得ながら、学校図書館の環境整備に努めた。各校に導入してきた図書システムも軌道に乗り、選書、購入、除籍なども効率よくできている。

	実学級数	図書標準数	H30 末蔵書数	達成率
菰野小学校	37 学級	13,600 冊	16,244 冊	1.194
千種小学校	15 学級	9,160 冊	9,536 冊	1.041
朝上小学校	20 学級	10,760 冊	13,538 冊	1.258
鵜川原小学校	16 学級	9,560 冊	9,680 冊	1.013
竹永小学校	14 学級	8,760 冊	11,553 冊	1.319
菰野中学校	24 学級	15,520 冊	16,769 冊	1.080
八風中学校	14 学級	11,680 冊	15,741 冊	1.348

## ⑥ 郷土教育の推進

自分たちが育ってきた地域を大切に守っていこうとする心や地域に貢献しようとする態度を養うなど、郷土について考える機会を充実させていくため、学校と地域が連携し、地域の教育資源を活用したり「わたしたちのまち菰野町」(小学校社会科副読本)を活用したりして、「郷土を知り、郷土から学ぶ」学習活動を推進した。これらの学習活動には、各校の学校運営協議会(菰野町コミュニティ・スクール)の取組とも関連づけながら、郷土教育を実施することができた。

## (2) 確かな学力と社会参画力を育む教育の推進

### ① 学力の育成

きめ細かな個に応じた学習指導の充実を図るため、非常勤講師を町単独で各学校に配置し、小学校3年生～6年生の算数科と、中学校では2年生と3年生の数学科及び英語科で少人数指導を継続的に行っている。

小学校6年生と中学校3年生を対象に4月17日に実施した「全国学力・学習状況調査」、小学校4年生と5年生、中学校1年生と2年生を対象に実施した「みえスタディ・チェック」については、学校で採点を行い、成果と課題を整理し、早期からの授業改善に取り組んだ。また、学力調査と同時に行われた学習状況調査により家庭での学習の仕方にも課題がみえてきたことから「家庭学習の手引き」を作成し、平成26年度より町内の全児童生徒と保護者に配付している。各学校においては、保護者に対し、家庭学習の重要性と学ぶ習慣が身につくための児童生徒への指導を求めた。

また、三重県教育委員会による「みえスタディ・チェック」の取組が、平成28年度から小学校5年生と中学校2年生については年間2回実施することに伴い、三重郡内の小中学校で継続的に実施している標準学力検査(CRT検査)の実施学年を、小学校5年生、中学校2年生から小学校4年生、中学校1年生に変更した。小学校4年生では国語科と算数科で、中学校1年生では国語科、社会科、数学科、理科、英語科の5教科で実施した。検査結果を三重郡教育振興会学校教育部会で分析し、児童生徒の学力の定着状況を把握して各校の指導方法の工夫及び改善に繋げた。

教職員の資質向上については、新学習指導要領に基づいた指導ができるよう、三重県教育委員会北勢教育支援事務所の支援を受けて、新しい学力観等に関する研修を行った。また、平成29年度より竹永小学校、朝上小学校において県の「わかる授業確かな実践事業」を受け、三重県教育委員会と連携しながら教職員の授業力向上に努めた。

### ② 特別支援教育の推進

特別な支援が必要な児童生徒について、各校で校内特別支援委員会を組織し、校内のコーディネーターが中心となり児童生徒への支援のあり方について組織的に検討し

た。その際、町内に2名配置している菰野町特別支援教育巡回コーディネーターを派遣し、助言する体制も整えた。対象児童生徒については、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成したうえで適切な指導及び支援を行った。また、特別支援教育支援員11名を各学校の状況に応じて配置し、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援にあたってきた。さらに、子ども家庭課とも連携し、個別の指導及び支援が必要と思われる児童生徒について、みえ発達障がい支援システムアドバイザーに助言を求めたり、アドバイザーが対象となる児童生徒へ直接対応したりすることで、学校での指導及び支援に活かしてきた。

特別支援学級在籍児童生徒への指導及び支援については、校内研修会等で全教職員が授業を参観し情報を共有したり、菰野町巡回コーディネーターが訪問し、指導及び支援のあり方について助言したりしてきた。また、38名の介助員を学校の状況に応じて配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援にあたってきた。

菰野町就学指導委員会では、対象となる園児、児童及び生徒の観察や聞き取りを行い、あわせて保護者の就学相談も行うことで、子どもや保護者のニーズに合ったよりよい就学指導を目指している。

### ③ 幼児教育の充実

就学前教育と保育の両方を提供する幼保一体施設の運営を継続して行い、町内全ての小学校区で保護者のニーズに寄り添った就学前教育及び保育、幼児教育の充実に努めた。幼保一体化幼稚園の全てにおいて3歳児保育を実施している。

各中学校区の校園長会議や子ども支援ネットワーク会議の中で、保幼小中の連携を目的とした研修会をもち、学校や園の状況、教育課題、指導方法等についての共通理解を深めることができた。また、幼児教育が小学校教育開始の大切な準備段階であることから、保幼小の相互の活動を、園児と児童が体験したり職員が参観したりすることで、交流を行ってきた。さらにキャリア教育の一環として、職業体験学習を通して園児と中学生の交流も進めてきた。今後も学びの連続性を考慮した保幼小中の連携を深めていく。

### ④ 国際理解教育の推進

外国語指導助手2名（JET青年）を小学校及び中学校に派遣し、小学校の外国語活動及び中学校の英語教育の充実に努めた。またALT担当者会議及び菰野町教職員研修会教育課程部会を定期的に開催し、小中学校での連続した学びの実現のための取組についても情報交換を行っている。令和2年度の小学校英語科導入に向け、平成27年度より、菰野町教職員研修会教育課程部会を中心に準備、協議、研修を進めている。

### ⑤ 情報教育の推進

子どもたちが主体的に情報を収集して選択し、自分の考えをわかりやすくまとめて表現することや、デジタル教材等を活用した効果的な学習を進めることができるよう、ICTの活用を推進した。情報機器の基本的な操作や仕組みを理解し情報技術を適切に選択し利用していける力や、おびたしい情報の中から必要な情報を選択し活用する力を身につけることができるよう、また子どもたちが適切な判断力と責任を持って情報を扱い、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度が育つよう、情報教育の充実に図った。

### ⑥ キャリア教育の推進

各教科及び道徳、特別活動、総合的な学習の時間等、教育活動全体を通して、かつ

他の教育活動とのバランスに配慮しながら、汎用性のある学力、コミュニケーション能力、忍耐力、規範意識、マナー、働く者の権利や義務についての理解、男女共同参画を重んずる態度等、社会的、職業的自立に必要な能力の育成を図った。特に中学校においては、子どもたちが望ましい勤労観や職業観を持ち、主体的に進路を選択する能力を身につけていくことをめざし、職場体験学習を実施した。

### (3) 健やかな体を育む教育の推進

#### ① 健康教育の充実

子どもたちが自分自身を価値ある存在と認めて自分を大切に思う自尊感情を育むなど、教育活動全体を通して命の教育に取り組んだ。また、性に関する教育や薬物乱用防止教育等、子どもたちの健康課題については、子どもたちの発達に段階に応じて、体育や保健体育の教科を中心に養護教諭や栄養教諭などとも連携し、学校の教育活動全体を通じた健康教育を実施した。養護教諭により保健だより等を発行し、児童生徒だけでなく、保護者に対しても健康教育の啓発を行った。

#### ② 体力、運動能力の向上

学校体育では、体育や保健体育の授業及び運動部活動、スポーツ行事など、学校教育活動全般を通して、子どもたちが運動やスポーツの楽しさ、喜びを体験し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培うものとして充実を図ってきた。

児童生徒一人ひとりがそれぞれの能力と適性に応じて、運動の課題を自ら解決することによって運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動の技能を高めることができるように授業づくりを進めた。

また、「三重県体力運動能力運動習慣等調査」については、調査対象の児童生徒だけでなく、全学年の児童生徒に対し体力測定を実施して、早期からの子どもたちの体力向上に向けた取組を行っている。

平成28年度より千種小学校において県教育委員会の小学校体育体力向上推進事業を受け研究を進めている。体育科の授業において、きめ細かな指導をすることにより、児童の体力向上につなげた。

#### ③ 食育推進事業

望ましい食習慣の形成、食に関する正しい知識の習得、さらにはその知識に基づいて食品の品質および安全性について自ら判断できる能力の育成を図った。また、栄養教諭などを中心に、校内で「食に関する指導」の計画を立て、学校教育全体を通して望ましい栄養や食事の摂り方、食に関する正しい知識等、指導内容の充実を図った。

本年度も菰野小学校、朝上小学校に栄養教諭を配置し、所属校が属する中学校区のすべての小中学校も担当し、小学校1年生から中学校3年生までのそれぞれの発達段階に応じた食育指導を、担任や養護教諭と連携して実施した。

また、小学校では給食だよりを定期的に発行し、児童だけでなく保護者に対しても食育の啓発等に取り組んだ。町としては、関係課等の担当職員による食育ネットワーク会議を年2回開催し、食育の推進に努めている。

### (4) 信頼される学校づくり

#### ① 開かれた学校づくりの推進

菰野町においては、平成29年度より町内すべての小中学校でコミュニティ・スクールをスタートさせた。

菰野町学校教育指導方針の一つである「開かれた学校づくり」を基本として、各学

校で地域性や子どもたちの状況に応じた特色ある学校経営がなされるよう、各校の学校経営方針を学校づくりビジョンに位置づけている。学校づくりビジョンは、学校だよりや各校のホームページ等を活用して公開している。また、児童生徒や保護者、教職員を対象とした学校評価についても同様に情報公開を行っている。

学校マネジメントシステム（学校自己評価・学校関係者評価）やコミュニティ・スクール、学校評議員制度等を活用することで、保護者や地域住民が学校運営に参画する機会を増やしている。さらに学校公開週間を通して日頃の教育活動を広く公開するとともに、地域の人材を活用した外部講師（ゲストティーチャー）を教育活動の中に取り入れる、また中学生が地域のふれあいまつり等にボランティアとして参加するなど、地域と学校の双方向の連携を図り、地域に信頼される「開かれた学校づくり」に努めた。各学校においては、これまでの地域と連携した取組が組織的に活動できるようになったり、これらの取組を通して地域の方々や児童生徒にとってよい刺激となり、学校品質の向上につながりやすくなった。

また、子どもたちの登下校の安全安心確保のために、学校とPTA等が協力して通学路点検を行った。さらには、教育委員会や関係行政機関、警察と連携して登校時の見守り等を実施した。

## ② 教職員の資質向上

日常的にOJTによる人材育成を行い、授業の進め方や生徒指導のあり方等の具体的な課題について同僚との議論を通して互いの力を磨こうとする「育てる文化」をつくりながら教職員としての資質の向上を図った。また、教職員同士の対話を重視し、互いに認め合える職場づくりをめざすとともに、学校の課題を共有し解決していくために、組織として対応する教職員集団を育成し、学校組織の活性化を図った。若い教員が増加する中で、教職員の育成については、学力向上アドバイザーを町単独で各校の要請に応じて派遣し、授業力の向上等の支援を進めている。

## ③ 子どもたちと向き合う時間の確保

教員による日常的な児童生徒との関わりに加え、教育相談等を定期的実施し、児童生徒の思いの把握や信頼関係の構築に努めた。

また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置や図書館司書の訪問時間や回数を増やすなどの専門職種の学校への導入を積極的に推し進め、子どもたちと向き合う時間が生み出せるよう、サポートしてきた。また、より専門的なスタッフの知識やスキルを活かし、教育の質を一層高めることができた。

## ④ 安全教育の推進と学校施設、設備の充実

子どもたちがさまざまな事件や事故及び災害等から自らの命を守るために、あらゆる教育活動の中に安全教育（生活安全〈防犯を含む〉教育、交通安全教育、防災教育）を位置づけ、関係機関や団体等と連携しながら、子どもたち自らが危険を予測したり回避する力の育成に努めた。

施設整備事業の主なものとして、小中学校校舎大規模改造事業では、千種小学校、鶴川原小学校及び朝上小学校の校舎大規模改造工事を実施し、菰野小学校、菰野中学校及び八風中学校の校舎大規模改造に係る調査設計業務を実施した。その他、菰野小学校の電話交換機更新工事、竹永小学校の放送設備更新工事を実施した。

(施設整備事業の概要)

工 事 名	請 負 業 者	請 負 金 額	工 期	工 事 概 要
菰野小学校 電話交換機 更新工事	西日本電信電話 株式会社 三重支店	4,212,000 円	12月19日 ～ 3月31日	電話交換機更新
千種小学校 北校舎 大規模改造工事	株式会社 大藤工務店	90,373,320 円	6月7日 ～ 9月28日	校舎大規模改造工事
朝上小学校 南校舎 便所改修工事	株式会社 館建築	15,985,080 円	6月29日 ～ 9月14日	校舎便所改修工事
鶴川原小学校 特別教室棟 大規模改造工事 (建築工事)	株式会社 佐野テック	82,855,440 円	6月7日 ～ 9月28日	校舎大規模改造工事
鶴川原小学校 特別教室棟 大規模改造工事 (機械設備工事)	山川設備工業 有限会社	12,526,920 円	6月15日 ～ 9月28日	校舎大規模改造工事
竹永小学校 放送設備更新工事	有限会社 三重電設	3,088,800 円	11月12日 ～ 1月31日	放送設備更新

[主な修繕等内容]

ア 小学校

- 菰野小学校 : 防球ネット修繕工事、体育館バスケットゴール補修工事、C館雑排水コンクリート柵蓋取替、チェーンネットクライム修繕
- 千種小学校 : フルバックアップ装置導入、緊急地震速報端末修繕、印刷室床他修繕工事、ブロック壁解体他工事、女子更衣室巾木修繕工事
- 朝上小学校 : プログラムタイマー親時計修繕工事、防犯カメラ修繕、フルバックアップ装置導入、ブロック塀撤去工事、フェンス設置工事、校章修繕工事、フェンスネット張替工事、南校舎堅樋修繕工事
- 鶴川原小学校 : 漏水修繕工事、フルバックアップ装置導入、給食室空調室内機洗浄作業、グリーストラップ壁面補修、普通教室棟軒天補修工事、ネットフェンス修繕工事、普通教室棟バルコニー漏水修繕工事
- 竹永小学校 : プール用メーター設置工事、給食室給水工事、フルバックアップ装置導入、体育館ステージランプ取替、校舎外部スピーカー取替工事、体育館改善工事、ブロック塀撤去工事、フェンス設置工事、2階多目的ホール床補修工事、フェンス補強工事、3階廊下床補修工事

## イ 中学校

- 菰野中学校 : 便所用メーター設置工事、フルバックアップ装置導入、武道場雨漏り修繕工事、体育用具修繕、武道場玄関サッシ取替工事、プールブロック塀撤去工事、武道場オペレーター修理工事
- 八風中学校 : 緊急地震速報端末修繕、消防用設備修繕、フルバックアップ装置導入、新館照明器具取替、テニスコートブロック塀解体撤去工事、校歌レリーフ修繕工事、フェンス撤去工事

### 【評価と今後の方向】

平成 30 年度においても、第 5 次菰野町総合計画の方向性を踏まえて策定された教育大綱、菰野町教育振興基本計画に基づき教育活動を行った。この基本計画では、学校教育においては、菰野町の基本目標である「元気で心豊かな人が育つまち」をまちの将来像とし、「豊かな人間性」「確かな学力と社会参画力」「健やかな体」を基盤とした、『新しい時代をたくましく生きる子どもの育成』を目指すものとなっている。個別の主な事業についての評価と今後の方向については、以下のとおりである。

町内の不登校児童生徒数については、平成 30 年度は小学校で 1 件増加し、中学校では 4 件の減少となったものの依然として不登校率が高い状況である。学校の支援室や放課後登校、菰野ふれあい教室での学習を通して、自己肯定感や自尊心の育成を図り、徐々に自己実現に向けての成果を上げている子どももいるが、不登校・不登校傾向が長期化してしまっている児童生徒もおり、不登校への対応も重要であるが、未然防止の取り組みの充実が必要である。子どもたち一人ひとりの状況に応じた多様な学びの場の提供が求められるなか、引き続き不安や悩みを受け止められる体制作り（教育相談の充実、「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査（Q-U 調査）」等の取組、カウンセラー等の配置、教職員のカウンセリングマインド研修等）の充実を進める。

読書活動の推進については、一斉読書の取組、図書標準数達成に向けての書架整備、「みえの学力向上県民運動」の一つである「ファミリー読書」など読書活動の充実に取り組んできている。今後も、家庭、図書館司書や図書ボランティアの方々と積極的に連携し、学校図書館の環境整備や家庭読書を推進していきたい。

学力の定着に向けて、町単独で各学校に少人数指導非常勤講師を配置し、少人数授業を小学校 3～6 年生の算数科で、中学校では 2 年生と 3 年生の数学科及び英語科で実施し、児童生徒一人ひとりにきめ細かな個に応じた指導をしてきている。今後も引き続き小学校の算数科と中学校の数学科及び英語科に重点をおいた少人数授業の推進を図り、基礎学力の定着ときめ細かな指導を目指していく。

また、「全国学力・学習状況調査」「みえスタディチェック」「CRT 検査」を通して、各学校で分析し、課題を明らかにして、授業改善に取り組んできた。また、学年末には取組の検証も行った。今後もこれらの調査を活用し、「全国学力・学習状況調査」や「みえスタディ・チェック」については、学校独自で採点に取り組み早期からの授業改善につなげられるようにしたい。また、結果については経年推移からも分析し有効に活用する。

特別支援教育については校内特別支援委員会の中で、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を推進するために、個別の教育支援計画や指導計画を作成して、保護者や関係機関との連携を図り、児童生徒の指導及び支援にあたってきた。就学前、小学校、中学校と途切れのない支援体制を整えるため、子ども家庭課との連携を強めるとともに、町内 2 名の特別支援教育巡回コーディネーターを各学校からの要請に応じ

て派遣し、就学相談等の充実を図ってきた。今後も、途切れのない支援体制の整備、関係機関との連携を充実させる。また、障害者差別解消法を受け、今後も学校現場における合理的配慮の提供についても各校と協議しながら取組を進めていく。

幼児教育については、令和元年10月より幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者の就労状況が変わり、子育て環境の変化、幼児教育・保育へのニーズの多様化がさらに進む。また、幼稚園教育要領（平成29年改訂）や保育所保育指針（平成30年改定）に対応した幼児教育・保育の実現に向け、子ども家庭課と連携し、幼稚園教諭や保育士への研修の充実を図っていく。また、これまで進めてきたCLM（チェック・リスト・イン三重）や個別の指導計画、パーソナルカルテ等の取組も活用し、保育園、幼稚園、小中学校の連携をさらに深める。

英語教育については、外国語指導助手の活用と併せ、学校サポート推進事業「外国語教育巡回専門教員」を活用し、小学校における外国語・外国語活動の授業力向上を推進する。

体力向上については、今後も、町内すべての小中学校において体力テストを実施し、その傾向と課題を分析しながら、基礎体力の向上に向けて取組を進めていく。

コミュニティ・スクールについては、各校での取組を情報交流しながら、各校・地域の特色を生かした事業を進めていく。

学校施設、設備の充実については、安全安心な施設環境、学習環境の質的向上を図るため、千種小学校、鶴川原小学校及び朝上小学校の校舎大規模改造工事を実施するとともに、翌年度に向けて菰野小学校、菰野中学校及び八風中学校の校舎大規模改造に係る調査設計業務を実施した。今後においても、児童、生徒が快適に学習するための利便性、快適性の向上に向けた対策を継続して進めていく。

## 2 社会教育

### (5) 地域全体で取り組む家庭教育と青少年健全育成の充実

#### ① 家庭の教育力の向上

家庭教育講座として、菰野町内の幼稚園、保育園における家庭教育講演会、親子将棋教室などを行った。

#### ② 地域における青少年活動の推進

青少年健全育成を推進するため、地域における非行防止の環境づくりや補導活動等を支援した。

#### ③ 現代社会を生き抜く青少年の健全育成

青少年育成町民会議を中心とした環境浄化活動、非行防止パトロール、あいさつ運動等を支援し、補助金を活用することで活動の場を広げ、町ぐるみでの青少年育成活動に取り組んだ。



○青少年活動支援推進事業

事業名	期 日	対 象	場 所	人 数
コボインタフェスティバル	7月1日	小中学生	町民センター ホール	150
書初め大会	1月12日	幼保園児 小中学生 一般	体育センター	78
書初め大会作品展示	1月12日 ～ 1月27日	〃	菰野町庁舎 1階ロビー	71
新春たこあげ大会	1月14日	親子	朝上小学校 (町民会議事業)	27
育成者指導者研修会 家庭教育 研修会	2月27日	一般	町民センター ホール	150

**(6) 活力ある地域社会の構築に向けた生涯学習の推進**

①生涯学習推進体制の確立

よもやま歴史教室、かもしかライフカレッジ等、生涯学習の振興を図るための講座や、人権講座、講演会、コンサートなどを実施した。また、外国語指導助手により、隔月で国際交流会を開催し、町内における国際交流活動を推進した。

○生涯学習推進事業

よもやま歴史教室 2018

[主催]菰野町教育委員会/よもやま歴史サークル

回	通算	日時	内 容	講 師	人数
1	230	5月19日 14:00～	日本人はどこから来たのか? ～3万年前の航海徹底再現プ ロジェクト～	国立科学博物館 人類 研究部・人類史研究グル ープ長 海部 陽介	114
2	231	6月9日 14:00～	徳川幕府の伊賀者について ～松下家文書の発見～	三重大学国際忍者研究 センター 准教授 高尾 善希	94
3	232	7月21日 14:00～	倭国大乱と邪馬台国 ～倭国 を鎮めた女王卑弥呼とは?ロ マンを秘めたその謎に迫る～	国際日本文化研究セン ター 教授 倉本 一宏	134
4	233	9月15日 14:00～	築城の名手 藤堂高虎 ～藤 堂高虎の生涯と築城技術を紹 介～	公益財団法人伊賀文化 産業協会 前専務理事 福井 健二	134

5	234	11月17日 14:00～	金溪先生も出会った朝鮮通信使 ～秀吉の侵略から家康の通信(平和)外交へ～	NPO法人フレンド・アジア・ロード理事長 貫井 正之	70
6	235	12月15日 14:00～	壬申の乱と齋宮	齋宮歴史博物館 副参事 兼学芸普及課長 榎村寛之	64
7	236	1月19日 14:00～	菰野土方藩の歴史 ～殿様は『江戸っ子』～	菰野町文化財調査委員 榎本 和真	99
8	237	2月16日 14:00～	大日つあんのお話 第2弾 ～竹成五百羅漢・大日如来坐像のすばらしさを再認識して後世に残す～	竹成五百羅漢と大日如来坐像研究者 黒宮 朝子	126
9	238	3月16日 14:00～	いまに生きる中韓日の徐福伝説 ～熊野市波田須を手がかりに～	愛知県立大学講師 遠 志保	107

かもしかライフカレッジ2018 [主催]菰野町教育委員会/かもしかサークル

回	日時	内 容	講 師	人数
1	5月12日 14:00～	緑と歴史のまち“菰野町”をたずねて～山歩きとツーリングで楽しもう～	三重大学非常勤講師 葛山 博次	26
2	6月23日 14:00～	歌はこころのビタミン剤～歌のもつ魅力、魔力について～	作詞家 やました 貴美	30
3	7月28日 14:00～	高齢者のための食生活のすすめ～実践レシピも含めて～	管理栄養士 櫻井 智美	中止
4	8月25日 18:30～	夏のほしぞら観望会	坂下星見の会	21
5	8月11日 14:00～	藤内小屋ものがたり～自然もすごいが、人間の力はもっとすごい～	谷 尚典 佐々木 正巳 佐々木 敏子	51
6	11月10日 14:00～	まずは人工知能AIについて知りましょう	鈴鹿工業高等専門学校 電子情報工学科 教授 田添 丈博	12
7	9月29日 14:00～	食事・運動・ストレスリダクションで“健康”長寿を目指しましょう!	藤牧循環器内科 薬剤師 藤牧 けい子	36
8	12月16日 13:30～	ウィンターコンサート	三重ユナイテッドウィン ドオーケストラ	455

○教育委員会主催 人権教育事業

事業名	期 日	場 所	人 数
各地区公民館 ・人権コンサート ・人権講演会	5月～2月 (5回) (5回)	各地区公民館 各地区コミュニティセンター 農村センター、けやきホール等	
平和祈念会 2018 ・コンサート ・映画上映	7月28日	菰野町保健福祉センターけ やき けやきホール	中止
平和祈念展	8月7日～ 8月12日	菰野町図書館ギャラリー	

○教育委員会主催 文化事業

事業名	期 日	場 所	人 数
菰野寄席 (第60回)	5月26日	菰野地区コミュニティセンター和室	78
町民盆踊り講習会	6月23日	菰野地区コミュニティセンターホール	80
コボンタフェスティバル	7月1日	菰野町町民センターホール	320
高倉宏恵 秋のワークショップ &コンサート	9月22日	菰野町保健福祉センターけや き けやきホール	110
kogakusyu 翔 Live at KOMONO	9月23日	菰野町町民センターホール	291
クリヤ・マコト with KOTETSU JAZZ Concert	11月23日	菰野町保健福祉センターけ やき けやきホール	102
邦楽フェスティバル 邦楽団 「結」結成20周年記念コンサ ート 一元気ー	12月2日	菰野町町民センターホール	380
Kajii ファミリーコンサート	3月9日	菰野町保健福祉センターけ やき けやきホール	220
成人式	1月13日	菰野町町民センターホール 菰野町体育センター	416
プロの音楽家による 課外授業アウトリーチ	12月～3月	町内各小学校	町内5校

○教育委員会支援文化事業

事業名	期 日	場 所	人 数
第22回菰野町俳句大会	7月14日	菰野町庁舎4階会議室	句
第9回三滝川燈火祭り & 第31回町民盆踊り大会	8月18日	三滝川河川敷周辺	8,000

○国際交流事業（異国文化とふれあう）

事業名	期 日	場 所	人 数
メキシコについて紹介、” Papel Picado” 制作	5月9日	菰野町庁舎4階会議室	36
MINNESOTA STATE FAIR、Hangman クイズ	7月20日	菰野町庁舎4階会議室	15
HALLOWEEN	9月3日	菰野町庁舎4階会議室	8
いろいろな国の年末行事、クリスマス	11月14日	菰野町庁舎4階会議室	19
いろいろな国の結婚に関する伝統、バレンタインカードを作ろう	1月9日	菰野町庁舎4階会議室	17
国クイズ（国旗や有名な場所の写真から、国を当てるクイズ）	3月13日	菰野町庁舎4階談話室	19

②公民館機能の充実

生涯学習の推進を図るため、町公民館や地区公民館において各種学級、講座を開催するとともに、公民館を趣味のサークルの場として、町民センターや南部公民館、地区公民館等の施設を町民に開放した。

○公民館教室及び講座

	教室、講座名	期間	日時	学習内容	講師名	会場	人数
1	文学講座	5月 ～ 2月	第4金曜日 13:30～ 15:00	森 鷗外 を読む ～『舞姫』から歴史小説まで～	三重県生涯学習センター講師 河原徳子	町民センター 会議室	55人
2	ロボット 工作教室	5月 ～ 2月	第2土曜日 9:30～ 11:00	ロボット製作を通して、ものづくりに必要な知識、技術を身につける	(株)ロボネット 堀田 武志	町民センター 会議室	親子 20組
3	ガーデニング講座	5月 ～ 2月	第3木曜日 9:30～ 11:00	お花やハーブのある暮らしをしてみたい方へ	メイガーデンズ ガーデンデザイナー 柵山 直之	町民センター 会議室	32人
4	ソーシャル メディア 講座	7月 ～ 2月	第1月曜日 18:30～ 20:00	ソーシャルメディアの活用等初歩的な内容	有限会社 ザワン ノブ横地	菰野町庁舎 4階 会議室等	12人
5	びっくり理科 実験教室	5月 ～ 9月	第2土曜日 13:00～ 14:30	様々な分野の理科実験を行い、“理科博士”を目指す	ロボネット 堀田 武志	町民センター 会議室	11人

③図書館サービスの充実

当館は、平成20年4月11日に開館し、現在12年目を迎えており、町民をはじめ近隣市町の利用者の方々の生涯学習の場として、中学生、高校生から高齢者まで幅広い方々に利用いただいている。また、児童書、絵本、紙芝居から育児に関する資料を児童書架に配置するとともに、絵本の読み聞かせ、英語による絵本の読み聞かせ、菰野町に伝わる民話語り等を体感してもらっている。

30年度実績については、図書開架室の年間入館者数30万人に対し、37万4千冊の図書資料の提供を行うとともに、生涯学習成果発表の場の提供や催事の開催等、滞在交流型図書館としての施設運営に努めてきた。

また、学校図書館への図書館司書巡回支援を継続することで、児童生徒の読書関心を高める取組みを行っている。

#### ア) 図書館事業

事業名	開催日	時間	場所	備考	参加数
開館10周年記念 花のデモンストレーション	4月21日 (土)	14:00～ 15:30	ギャラリー	花匠による生け花の実演、 展示	多数
子ども読書週間企画 「子どものための絵本ライブ& おりがみ」	5月5日 (祝)	14:00～ 15:00	おはなし ルーム	小学校低学年以下対象の 読み聞かせや折り紙作成	多数
絵本読み聞かせ講座	6月7日 (木)	10:00～ 12:00	催事室	絵本の読み聞かせの方法 や知識について	29人
図書館フェア	6月23日 (土)	9:30～ 11:30 13:30～ 16:30	催事室 交流ラウンジ	雑誌リサイクルフェア及び 読み聞かせまつり	221人
子ども図書館員体験	7月26日 (木)	午前の部 午後の部	図書館内	町内小学5、6年生に図書 館の仕事体験	11人
子ども司書育成事業開講式	8月10日 (金)他5件		図書館内	子ども司書育成事業	11人
〔後援事業〕 民話まつり	8月11日 (土)	19:00～ 20:00	催事室	夏の夜 怪談話	150人
開館10周年記念講演会 「あの文豪のはなし」	9月19日 (水)	13:30～ 15:00	催事室	夏目漱石他の作品の読み 解き	35人
児童書ふるほん市 「本フェス～人から人へつな がる本～」	10月7日 (日)	10:00～ 16:00	社会福祉公 園	絵本や児童書の販売を通 じてコミュニケーションの場 にする。売上は寄付する。	多数
秋の読書週間スタンプラリー	10月20日 (土)～ 12月9日 (日)		開架室	対象者 図書館利用者 中学生以上:70人 小学生:100人	170人
身近にある国の天然記念物 シデコブシのはなし	11月18 日(日)	10:00～ 11:30	催事室	樹木医によるシデコブシの 解説	24人
大人のための朗読会 「おはなしの小箱」	11月21日 (水)	13:30～ 14:30	交流ラウンジ	朗読アーティストによる大 人向け朗読会	50人
ビブリオバトル	12月2日 (日)	14:00～ 15:30	催事室	一人5分で、中学生以上 の参加者が選んだ本の魅 力を語り合う書評合戦	13人

クリスマス 読みあそびライブ	12月22日 (土)	10:30～ 11:10	交流ラウンジ	小学校中学年までを対象 の読み聞かせを交えたイ ベント	多数
大人のためのクラフト教室	3月6日 (土)	13:30～ 15:30	催事室	どんぐりと竹を使った工作 教室	20人

イ) 催事室利用状況

開催日、期間	行事名	主催者名
4月26日(木)	こもりぶサポーター会議	菺野町図書館
5月22日(火)	TRCブックキャラバン	菺野町図書館
5月24日(木)	こもりぶサポーター会議	菺野町図書館
6月7日(土)	読み聞かせ講座(絵本)	菺野町図書館
6月15日(金)	こもりぶサポーター会議	菺野町図書館
6月15日(金)～21日(木)	教科書展示	菺野町教育委員会
6月22日(金)	雑誌リサイクル	菺野町図書館
6月23日(土)	図書館フェア	菺野町図書館
7月6日(金)	こもりぶサポーター会議	菺野町図書館
7月20日(金)～8月31日 (金)	夏休み臨時学習室(催事使用を除く)	菺野町図書館
7月26日(木)	夏休み自然学習教室	菺野町図書館
8月8日(水)	子ども司書育成事業開講式	菺野町図書館
8月11日(土)	民話まつり	民話がたり合同会
8月29日(水)	こもりぶサポーター会議	菺野町図書館
9月6日(木)	こもりぶサポーター会議	菺野町図書館
9月15日(土)～17日(月)	菺野町手づくり民話絵本コンクール 2018 応募 作品の絵本展示会	絵本の町づくり文化プロ ジェクト実行委員会
9月19日(水)	開館10周年記念講座「あの文豪のはなし」	菺野町図書館
9月26日(水)～30日(日)	開湯1300年記念谷泉石書作展	松陰書道会
10月2日(火)～16日 (火)	貯金箱コンクール作品展示	郵便局
10月25日(木)	こもりぶサポーター会議	菺野町図書館
11月18日(日)	「シデコブシのはなし～身近にある天然記念物 ～」	菺野町図書館
12月2日(日)	子ども司書育成事業ビブリオバトル	菺野町図書館
12月7日(金)～9日(日)	花墨会書道展	花墨会
12月11日(火)～21日 (金)	開湯1300年記念書道	菺野町図書館
2月14日(木)	こもりぶサポーター会議	菺野町図書館
3月6日(水)	「大人のためのクラフト教室」	菺野町図書館
3月27日(水)	菺野町図書館協議会	菺野町図書館

ウ)ギャラリー利用状況

開催日、期間	行 事 名	主 催 者 名
4月1日(日)～13日(金)	平成30年全国高校総体登山大会のPR	教育委員会
4月21日(土)～30日(月)	花匠佐々木直喜氏 花のデモンストレーション	菰野町図書館
5月11日(金)～13日(日)	風景写真展	吉田三郎さん
7月13日(金)～24日(火)	湯の山温泉開湯1300年歴史アート展	三重県自然環境保全センター
8月6日(月)～13日(月)	平和祈念展(パネル展示)	総務課
8月20日(月)～31日(金)	菰野ばんこ会紹介と陶磁器展	菰野ばんこ会
9月1日(土)～8日(土)	図書館 de いろのは展 2018 マスキングテープ・アート展	アトリエいろのは
9月9日(日)～17日(月)	救急PRポスター作品展	菰野町消防本部
9月22日(土)～23日(日)	位田白峰書作展	位田きみ子さん
9月25日(火)～10月28日(日)	かもしかハーフマラソンポスター・川柳展	菰野町教育委員会
11月1日(木)～13日(火)	社会を明るくする運動ポスターコンクール入選作品	健康福祉課
11月14日(水)～25日(日)	子どもの姿写真展	川嶋写真館
11月26日(月)～12月6日(木)	鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン写真等作品展	教育委員会
12月7日(金)～9日(日)	花墨会書道展	花墨会
12月11日(火)～24日(月)	湯の山温泉開湯1300年写真展	片出 実さん
1月12日(土)～20日(日)	全国孔版画愛好者による年賀状展	大羽根園孔版画同好会
1月23日(水)～27日(日)	絵本コンクール絵本作家かがくいひろしさん絵本原画パネル展&活動DVD上映	絵本のまちづくり文化プロジェクト実行委員会
1月29日(火)～2月10日(日)	「こころのはがき絵」水彩画作品展	水彩画「彩美会」
2月13日(水)～17日(日)	風景写真展	吉田三郎さん
2月28日(木)～3月8日(金)	写生大会、防火習字、競書会作品展	菰野町消防本部

エ)平成30年度図書館貸出等の状況

開館日数	295日	新規登録者	1,495人
貸出人数	120,695人	貸出冊数	373,967冊
購入冊数	7,115冊	受入冊数	8,525冊

登録者数、蔵書冊数及び購入冊数(平成31年3月31日現在、購入冊数は累計)

登録者数	34,616人	購入冊数	91,761冊
蔵書冊数	159,831冊	※蔵書冊数は、図書資料、AV資料、雑誌の総数	

オ) 研修等の受け入れ実績

① 職場体験学習

受け入れ期間	学 校 名	人 数
5月29日(火)～31日(木)	四日市市立西陵中学校第2学年生徒	3名
6月6日(水)～8日(金)	四日市市保々中学校第2学年生徒	3名
9月11日(火)～13日(木)	菰野中学校第2学年生徒	3名
11月6日(火)	三重県立朝明高校第2学年生徒	1名
11月13日(火)～15日(木)	八風中学校第2学年生徒	3名
12月5日(水)	職業体験学習千種小学校6学年児童	4名

② 各種研修

受け入れ日	摘 要	
6月1日(金)	国家公務員地方自治体実地体験	3名
7月24日(火)、25日(水)	菰野小学校教諭社会体験研修	4名
7月27日(金)、31日(火)	竹永小学校教諭社会体験研修	1名
7月27日(金)、8月1日(水)	八風中学校教諭社会体験研修	1名
8月1日(水)、2日(木)	千種小学校教諭社会体験研修	2名
8月9日(木)、10日(金)	朝上小学校教諭社会体験研修	1名
8月9日(木)、10日(金)	鶯川原小学校教諭社会体験研修	1名
12月4日(火)、5日(水)	菰野高等学校教諭社会体験研修	1名

③ 社会見学・施設見学

受け入れ日	摘 要
7月26日(木)	新規採用教職員研修会施設見学
10月5日(金)	竹永小学校3年生社会見学

④ 小中学校図書室巡回

学校図書室	巡回	学校図書室	巡回
菰野町立菰野小学校	23回	菰野町立菰野中学校	24回
菰野町立鶯川原小学校	22回	菰野町立八風中学校	18回
菰野町立竹永小学校	22回		
菰野町立朝上小学校	23回	小学校 計	112回
菰野町立千種小学校	22回	中学校 計	42回



⑤ブックトーク訪問

実施日	対象学年	学校名
7月10日(火)	小学校3年生	菺野町立千種小学校
7月12日(木)、13日(金)		菺野町立菺野小学校
7月17日(火)		菺野町立鶴川原小学校
7月18日(水)		菺野町立竹永小学校
7月5日(木)		菺野町立朝上小学校
11月21日(水)	小学校1年生	菺野町立千種小学校
11月28日(水)		菺野町立鶴川原小学校
11月29日(木)		菺野町立竹永小学校
12月4日(火)、6日(木)		菺野町立菺野小学校
12月5日(水)		菺野町立朝上小学校

⑥学校授業支援

支援日	対象学年	学校名
5月17日(木)	小学校1年生	菺野町立竹永小学校
5月1日(火)		菺野町立千種小学校
4月25日(水)		菺野町立菺野小学校
5月11日(火)		菺野町立朝上小学校
6月1日(金)	小学校2年生	菺野町立朝上小学校
10月31日(水)	小学校5年生	菺野町立朝上小学校

⑦放課後子ども教室支援

地区	支援日
菺野地区	7月4日(水)、7月11日(水)
朝上地区	6月20日(水)
千種地区	10月31日(水)

【評価と今後の方向】

図書資料の収集に努めてきた結果、蔵書冊数は約16万冊となり、図書開架室の入館者数は開館11年間で延べ340万人を数えた。図書開架室に生涯学習室や催事室等を加えた館全体の年間入館者数は43万人である。

「第二次菺野町図書館整備基本計画」に基づき図書館職員の増員強化が進み、図書館司書は8人を擁し、学校図書館巡回支援や図書館開館日の見直し等の展開を行っている。

図書館司書が学校図書館を巡回することで担当教諭や地域の図書ボランティアとの連携が発展した。今後も図書室の環境整備や児童生徒の読書関心を高めるブックトークなど読書支援を継続する。

開館日の見直しは平成28年度から、祝日と重なる月曜休館日の開館と金曜日に限るものの閉館時間の午後7時を実施している。入館状況はデータ化し、図書館運営協議会の意見を聞きながらよりよい図書館運営につなげることとする。

また、北部子育て支援センター窓口での図書貸出申込や返却本の受取り開始は図書館遠隔地における図書館サービスも継続して行い、利用につなげる。

引き続き図書資料の充実に努めるとともに、生涯学習拠点機能を活かした滞在交流型図書館として利用しやすい施設運営にあたる。

## (7) 健やかな心身をつくる生涯スポーツの推進

### ① スポーツ活動の機会と教室、大会などの充実

元気アップこものスポーツクラブが行うスポーツ教室開催事業に対して助成を行い、13種目の子どもを対象としたスポーツ普及、育成教室（24教室）を実施し、スポーツ活動の機会の提供や競技力の向上を図るとともに、町体育協会が行うスポーツ大会開催事業に対して助成を行い、競技種目の振興を図った。

また、町民をはじめ県内外から4,300人のランナーが参加した第13回鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンの開催運営経費の助成を行い、健康増進と合わせて町内のボランティアによる協働作業により町の更なる活性化、菰野町民の結束力向上を図り、県内外へ菰野町の情報発信をすることができた。（会場入場者9,500人、大会協力スタッフ1,067人）

加えて、住民参加型スポーツ交流イベント「菰野ヒルクライムチャレンジイン鈴鹿スカイライン事業」に対しても助成を行い、行政、地域住民、観光、商工及び体育団体等様々な分野が連携、協力し合って地域の連帯を深めることができ、かもしかハーフマラソンと同様、町内外へ菰野町について情報発信する絶好の機会となった。

さらに、障がい者スポーツの体験会などを開催し、障がい者の生きがいづくり、社会参加を促すとともに、障がい者スポーツの理解を深めてもらう機会を創出しました。

平成30年度全国高校学校総合体育大会登山大会を開催した。そして、三重とこわか国体に向けての普及、啓発活動を図った。

### ② スポーツ団体の育成や指導者の養成、支援

スポーツ推進委員を通じて、いつでも手軽にできるニュースポーツの普及を促進し、町全域への運動意識の向上を図った。

### ③ スポーツ施設の整備、充実

平成30年度における主な施設整備としては、B&G海洋センター非構造部材等改修工事およびB&G海洋センター西側グラウンド改修工事を行い、災害時の収容避難所としての機能確保を図るとともに、スポーツ施設利用者の利便性向上と、安心して快適にスポーツに親しむことができるように努めた。

町営の体育館やグラウンドについては、年月の経過により老朽化しているため、順次改修や修繕を実施し、安全に使用してもらえるように努めている。

### 【評価と今後の方向】

元気アップこものスポーツクラブ事業や鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンなどを通じて、多くの住民がスポーツに親しみ、スポーツに対する意識を高めることができた。

また、芸術文化、スポーツの振興を図り、各種団体間のネットワーク事業を企画実施し、地域社会づくりに寄与することを目的として設立された、特定非営利活動法人菰野町スポーツ・文化振興会の事業を、住民自らが参画し協働して実施することによって、発展させることができた。

各団体による各種事業への自主的運営が進んできている中で、障がい者スポーツへの理解を深めていき、今後も、町民一人ひとりがスポーツへの意識を高め、健康管理

しつと楽しくスポーツができる環境整備に努めるとともに、スポーツに対する受益者負担意識を進め、負担する対価に見合った環境整備と施設の充実を図り、生涯スポーツの実現を目指してさまざまな事業を展開していきたい。

## (8) 豊かな文化の継承と創造

### ①芸術文化活動への支援と交流の促進

菰野町における芸術文化とスポーツの振興を図り、各種団体間のネットワーク事業を企画して実施し、地域社会づくりに寄与することを目的としたNPO法人「菰野町スポーツ・文化振興会」が、体育協会事務局及び芸術文化協会事務局を担当し、活動支援を行っている。

三条市、東海村との民間促進事業については、両市村との写真部会による写真交換展示を実施した。また、スポーツ交流として菰野剣道スポーツ少年団団員と東海村剣道スポーツ少年団との稽古会を実施し、交流を図った。

### ②有形と無形の文化財や歴史的資産の保存と活用

国指定天然記念物である田光のシデコブシ及び湿地植物群落を良好な状態で保存継承していくため、保存管理計画をもとに、生態系の調査や雑草の刈取りを実施し、観察会を開催するとともに、西側部分の民有地の用地買収を行った。

事業名	期日	場所	人数
国指定天然記念物 田光シデコブシ群落観察会	4月6日	田光シデコブシ群落	23

### ③郷土愛の育成

郷土の文化財等を理解し親しみを深めてもらえるよう、図書館2階郷土資料コーナーにて、年2回の展示替えを行い、庁舎1階にもミニコーナーを設けて郷土の歴史について展示をした。また、郷土史に対する問い合わせについては、図書館郷土資料コーナー等において対応した。

#### 【評価と今後の方向】

生涯学習の振興を図るため、文化振興事業をはじめ、さまざまな事業に取り組んでいる。また、よもやま歴史教室、かもしかライフカレッジにおいては、自主サークルによる運営委託や協力により、自主的な事業運営に取り組んでもらっている。

青少年育成対策については、青少年育成町民会議を主体として、それぞれの関係団体が青少年の健全育成と非行防止のための取り組みを強化し、町ぐるみで青少年育成活動に取り組んでいる。今後も町民がそれぞれの分野において、自主的、自発的に関わりをもつような事業が増加するよう取り組みを進めていく。

## IV 評価委員会の意見

### 1 教育委員会の運営

- ・ 職員数について、社会教育室の勤務体制が町民のニーズ、期待に応えるため、1年間の活動を通して、文化、スポーツ活動等の行事、イベントが多岐にわたっている関係で土曜日、日曜日、祝日の出勤が年々多くなってきており、代休がきちんと取得できているのか、健康管理上の問題もあり、非常に心配している。過労による病気、けがのないように十分配慮してほしい。
- ・ 学校訪問については、時間を十分取ってもらったうえで、学校現場の生の声を聞き、その声を吸い上げてもらっていると思うが、教育委員会の教育現場に対する率直な疑問、意見をすり合わせる場でもあるので、それらの声が学校運営に適宜、適切に反映されることを望む。
- ・ 総合教育会議については、教育課題としてのいじめ、不登校対策に関して町長と教育委員会との間で共通認識を持つため、学校の課題は何か、行政ができることは何か等を直接町長と教育委員会が意見交換を行い、行政と学校現場双方の思い、考え方のすり合わせを行ったとのことなので、その共通認識を生かして現場のニーズにあった対応を望む。
- ・ より一層の教職員のレベルアップに資するため、教育長の人事面での尽力に期待する。

### 2 学校教育事務事業

- ・ 幼児教育の充実、子どもたちが健やかに育ち、生涯にわたる人格形成を培うもので極めて重要である。幼稚園及び保育園の所管が教育課から子ども家庭課に移管されているが、幼児教育で育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、今後とも各中学校区の校舎長会の存続による保幼小の活発な連携・交流を継続してほしい。
- ・ 不登校の児童、生徒数については、平成26年度以降全国平均より高いという憂慮される状況が続いており、喫緊の課題と捉えているとのことであるが、不登校の子どもたちの追跡調査に関して、子ども家庭課、児童相談所等との情報共有に努め、その子どもたちが真に自立できているのか、細かい目配りを望みたい。
- ・ 町単独の非常勤講師等の人的配置については、他市町と比較しても遜色ないほど手厚い配置がなされていると思う。人員確保や予算措置に関しては、引き続き厳しい状況にはあると思うが、今後も一層の充実が図られるよう努力してほしい。
- ・ 人権教育を推進、充実させることが、いじめや不登校を解消していくことにもつながると思うので、受け皿としての「人権感覚あふれる学校づくり」に向けてまい進してほしい。
- ・ ALTは現在2名体制であるが、菰野町のALTは質が高いと思う。予算的なこともあるとは思いますが、英語の小学校教育に関連して増員をしてもらい、菰野町の国際理解教育の一つの目玉にされてはどうか。
- ・ 日本語指導が必要な児童、生徒とその保護者に対する「保健だより」、「給食だより」等の学校だよりの翻訳について、手間はかかるが対応すべきと思われる。また、逆に多様な外国語であいさつ程度の会話ができれば、インバウンド対応を見据えたコミュニケーション能力の醸成にも資するものと思われる。
- ・ 学力の育成については、全国学力・学習状況調査等の数値にこだわりすぎず、調査結果の活用による授業改善や少人数指導等によるきめ細かな指導を進めながら、児童

生徒がそれぞれの強みを伸ばし、弱みを克服できるよう、取組を進めてほしい。

- ・ 特別支援教育では、介助員・支援員の適正配置はもちろん、巡回コーディネーターを委嘱するなど、学校や保護者の願いに応えるための取組は評価できる。今後も、子ども家庭課と連携するなかで、個別の教育支援計画による途切れのない支援体制をより充実させてほしい。
- ・ 学校教育の充実に向けて、指導主事の果たす役割は大きいと思われるが、町内7校への指導助言は1名体制では難しいと思われる。学力の育成や特別支援教育に要する人員として、校種別に各1名体制で指導主事が配置できるよう検討してほしい。
- ・ 読書活動の推進では、学校において実施している一斉読書が、読書に勤しむひとつのきっかけづくりとなっている。よい習慣なので是非続けてほしい。また、図書館司書が学校図書館への関わりを強めることにより、各校の蔵書の平準化が図られるとよいと思う。また、学校図書館へ専任の司書教諭の配置ができるように、県に対しては継続して要望、申し入れを行ってほしい。
- ・ 不登校児童、生徒への対応として、菰野ふれあい教室の充実やQ-U調査の実施、スクールカウンセラーの町単費での配置など解決に向けた取り組みは評価できる。また、教育委員会事務局が、各校の教育課題を迅速に把握し解決するために、スクール相談ネットワークなどの人的配置により、連携体制を整えていることも評価できる。今後も、学校に対する適切な指導、支援の更なる充実を望みたい。
- ・ 開かれた学校づくりの推進については、コミュニティ・スクールを町内すべての小中学校でスタートさせたということで、学校を側面から支援する体制が整ったと言える。地域からの意見により、学校がますます活性化することを期待したい。そのためには、学校運営がやりにくくならないように調整機能も働かせて取組を進めてもらいたい。
- ・ 安全教育の推進については、子どもたちがさまざまな事件や事故及び災害等から自らの命を守る力を高めることは大切である。また、中学生などは高齢者を災害から守る役割も期待できる。子どもたちが地域防災の担い手としての自覚を高められるような取組を進めてほしい。
- ・ 施設整備事業の主なものとして、千種小学校北校舎の大規模改造工事、朝上小学校南校舎の便所改修工事、鶴川原小学校特別教室棟の大規模改造工事などが行われ、教育環境が向上した。とはいえ、トイレの洋式化については、すべての要望に応えるまでには至っていないのが現状である。今後も安全、安心で快適な教育環境を整えるため、推進計画に基づいて着実に進めてほしい。
- ・ 菰野小学校の児童数については、子どもたちの学習権の確保、教育環境の充実のためにも、ぜひとも注視しつつ最善の方策を検討してほしい。

### 3 社会教育事務事業

- ・ 社会体育については、全国から参加者が集う「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」や「菰野ヒルクライム・チャレンジ・イン鈴鹿スカイライン」の大規模な住民参加型スポーツ交流イベントの開催においては、参加人数も多数にのぼり、企画運営上大変な部分も多いと思う。「菰野町」というまちを町外や県外に情報発信する絶好の機会でもあるので、企画運営の核となる人材の世代交代も視野に入れつつ、課題もあろうかと思うが、今後も継続して実施できるように努めてほしい。
- ・ 文化事業のうち「よもやま歴史教室」については、参加者が100人を超える事業も見受けられるが、1年を通して参加しやすくするためにも、テーマ選びが大切であると思う。アンケートを取っているということだが、開催時間、テーマを絞って一貫性を持たせる等の工夫、検討も続けてほしい。

- ・ 「スポーツ・文化振興会」の設立により、芸術文化活動やスポーツ活動の振興、事業の企画運営、それぞれの団体間の交流によるネットワークの構築等を着実に進めてもらっている。今後も新たな事業展開に取り組み、スポーツ・文化の振興とともに、地域の活性化にも寄与することを期待する。また、施設面については、B&G 海洋センター西側グラウンドの改修工事を実施してもらったが、ぜひとも年間通して有効利用できる方法を考えてもらうとともに、町の防災機能を高めるといった視点等も加味し、更なる体育施設の充実に向けての総合体育館構想の策定、検討を望む。
- ・ 学校教育におけるゲストティーチャーを招いての地域教育資源の活用、小学校社会科副読本「わたしたちのまち菰野町」の活用といった「郷土を知り、郷土から学ぶ」学習活動を通じた「郷土教育の推進」と社会教育における郷土の文化財等を理解し、親しみを深めてもらうために設置してある図書館郷土資料コーナーを活用した「郷土愛の育成」に関して、双方の連携をより強めてもらうといいのではないかと。
- ・ 文化財保護事業として実施している「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」の保存管理については、保存管理計画に基づき、引き続き用地買収や計画的な適正管理に努めてほしい。
- ・ 菰野町郷土資料館（仮称）整備事業検討委員会において、郷土資料館整備に向けての検討を重ねられているということだが、郷土資料として保存されている貴重な古文書、民具、佐々木一先生の資料等を保管し、活用できる場所の早期整備を望む。

#### 4 図書館事業

- ・ 貸し出した図書等の延滞、未返却については、増加傾向にはないということであったが、町民への説明責任を果たすという意味合いからも、少しでも改善できるようにさまざまな方法を工夫して今後も取組を継続してほしい。
- ・ 学校図書館で活動してもらっている図書ボランティアの皆さんの集える場（任意組織の名称：こもリブサポーター）の持つ意義は大きいと考えるので、今後も継続してほしい。
- ・ 菰野町図書館は、立地条件としては菰野町の南部に位置していることから、北部方面である朝上地区や竹永地区の住民も同様に図書館サービスを楽しむことができるようにすることは意義がある。北部子育て支援センター窓口における図書館資料の貸し出し申し込みと返却本の受付を開始したことは評価できる。今のところ土日の対応は不可ということだが、かなりの利用者がみられるということであり、今後も更に取組を充実させてほしい。
- ・ 菰野町図書館を利用している四日市市民の割合が 40%程度となっている。もっと菰野町民に手厚く図書館サービスを提供するために、四日市市に対して中央図書館だけでなく、西部にも分館の設置等何らかの対応を取るよう提言することを望む。
- ・ 祝日にあたる月曜日やゴールデンウィーク中及び8月最後の月曜日を代替え休館なしに開館する取組は、評価できる。今後も利用者のための図書館サービスについて検討し、効果のある取組を望む。
- ・ 図書館司書資格者を優先して採用し、利用者の意向に応えるように配置していることは評価できるが、臨時職員の配置が多く不安定な状況にあることから、できる限り正規職員や嘱託職員での専門職の配置を引き続き検討してほしい。
- ・ 学校図書館には、専任の司書教諭が配置されておらず、図書の管理及び図書館運営に苦慮している現状がある。そうした中、以前から実施している司書資格を有する図書館職員による学校図書館への派遣事業については、今後も学校への支援体制を継続してほしい。